

事業名	3.11 子ども animo プロジェクト
分類	復興支援事業
支援団体	被災幼小中高等学校、仮設住宅入居者（宮城県・福島県）

### 活動理由

2011.3.11 に起った未曾有の東日本大震災に対して、HG石巻クラブと、HG福島クラブと連携して継続的支援を実施。復興の最も大きな柱となるのは「教育」である。昔からいつの時代も、日本の発展を支えたのは「教育」の力であった。

HGが行ってきたカンボジアでの活動も、人材育成、教育である。明日を担う子ども達と、そしてそれを支える現場の先生たちが元気になれるよう、1日も早い復興を願いながら「3.11 子ども animo プロジェクト」として本年も支援活動を進めた。

本年は、全国からの支援が減少している中、復興にはほど遠い状態である宮城県の2校の仮設学校と話し合い、現地が希望する支援を進めた。福島県も必要物資や、避難者が元気になれる支援として、福島クラブの要請により支援活動をした。

### 活動概要

**宮城県** (石巻市立渡波小学校、東松島市立野蒜小学校)

- ① 毎日の授業は、仮設学校で始まっているが、校外学習などPTAが負担してきた校外学習などが、親たちも被害を受けている中、十分な学習ができにくくなっている。そこで、学校と話し合っ、子どもたちにとって楽しい自然教室、全校遠足、宿泊学習などを支援。
- ② また、全ての写真が無くなった子供たちが多く中、6年間の思い出を蘇ることが出来る小学校の卒業アルバムを支援した。子ども達からは、とてもうれしかったとの感想がたくさん寄せられた。
- ③ 鼓笛隊が優秀で近くの避難所などにも、演奏して喜ばれている渡波小学校からは、鼓笛隊のユニフォームの要請があり支援した。



**福島県** (福島県被災学校、避難者)

- ① まだ物資が充分でない学校、避難所に必要物資を支援  
飯館小学校・飯館村仮設幼稚園・仮設小学校・仮設中学校・飯館村避難者・福島県警津波被災者捜索隊
- ② 富岡高校(バトミントン部支援)
- ③ ロンドンオリンピック競泳出場支援(加藤和)
- ④ 被災者(米倉良平君)をアンコールワット国際ハーフマラソンに招待
- ⑤ 波江町避難者支援



交流事業として有森代表他数名が現地支援学校を訪問 (3月5日～8日)  
有森裕子先生の体育出前授業、卒業アルバム贈呈 (野蒜小学校)  
ブラスバンド引き継ぎ式参加(ユニフォーム贈呈式)交流(渡波小学校)

### 次年度の実施計画

- ・ HG石巻クラブ、HG福島クラブと協力して復興支援継続
- ・ 被災学校である野蒜小学校、渡波小学校の復興支援の継続
- ・ 福島県被災学校、仮設住宅避難民への支援
- ・ 太陽光街灯の設置(小・中学校・公民館など計35基)

### 支援・協力団体

日本警察・消防スポーツ連盟、淀川国際ハーフマラソン、(株)翌檜、バレンタインチャリティーデナー実行委員会、絆の会(あにも)、個人支援者、就実中・高等学校、船橋市立海神小学校、岡山市立石井中学校